経営比較分析表（令和6年度決算）

神奈川県大和市　市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	**診療科数**	**DPC対象病院**	**特殊診療機能　※１**	**指定病院の状況　※２**
直営	32	対象	透 未 訓 ガ	救 臨 が 災 地 輪
人口（人）	**建物面積（㎡）**	**不採算地区病院**	**不採算地区中核病院**	**看護配置**
245,750	27,111	非該当	非該当	７ ： １

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
403	－	－
許可病床（精神）	**許可病床（感染症）**	**許可病床（合計）**
－	－	403
最大使用病床（一般）	**最大使用病床（療養）**	**最大使用病床（一般＋療養）**
314	－	314

※１　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ 未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療

※２　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院　地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

グラフ凡例

■　当該病院値（当該値）

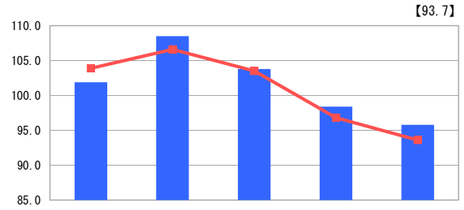
ー　類似病院平均値（平均値）

【】　令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

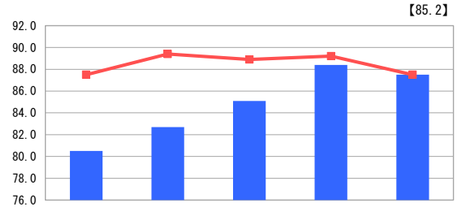
【93.7】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	101.9	108.5	103.8	98.4	95.8
平均値	103.9	106.6	103.5	96.8	93.6

②医業収支比率(%)

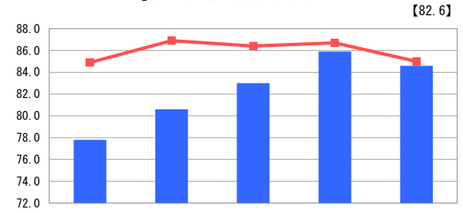
【85.2】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	80.5	82.7	85.1	88.4	87.5
平均値	87.5	89.4	88.9	89.2	87.5

③修正医業収支比率(%)

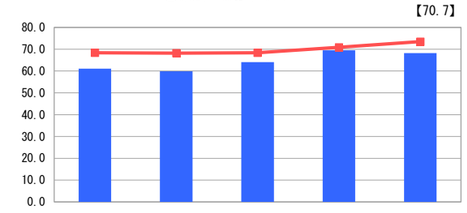
【82.6】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	77.8	80.6	83.0	85.9	84.6
平均値	84.9	86.9	86.4	86.7	85.0

④病床利用率(%)

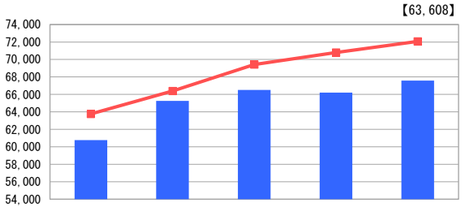
【70.7】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	61.1	59.9	64.1	69.5	68.2
平均値	68.4	68.2	68.4	70.9	73.5

⑤入院患者１人１日当たり収益(円)

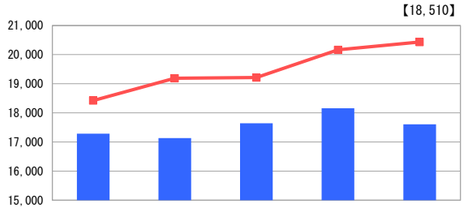
【63,608】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	60,775	65,254	66,510	66,198	67,575
平均値	63,766	66,386	69,418	70,803	72,068

⑥外来患者１人１日当たり収益(円)

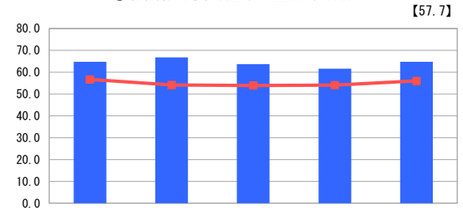
【18,510】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	17,288	17,136	17,644	18,161	17,609
平均値	18,423	19,190	19,216	20,167	20,434

⑦職員給与費対医業収益比率(%)

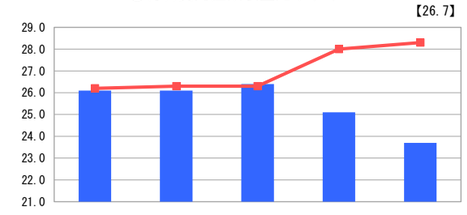
【57.7】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	64.8	66.8	63.7	61.6	64.8
平均値	56.7	54.2	53.9	54.1	56.0

⑧材料費対医業収益比率(%)

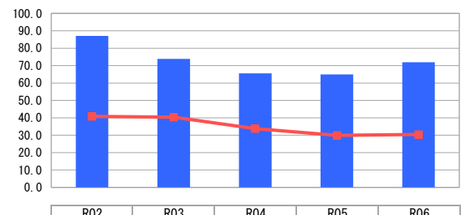
【26.7】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	26.1	26.1	26.4	25.1	23.7
平均値	26.2	26.3	26.3	28.0	28.3

⑨累積欠損金比率(%)

【54.3】

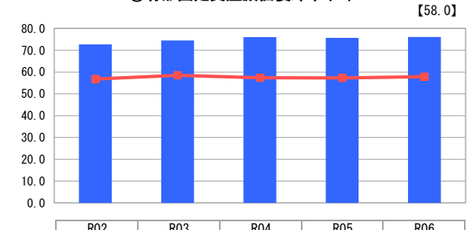


	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	87.1	73.9	65.5	64.9	71.9
平均値	40.8	40.4	33.8	29.9	30.4

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

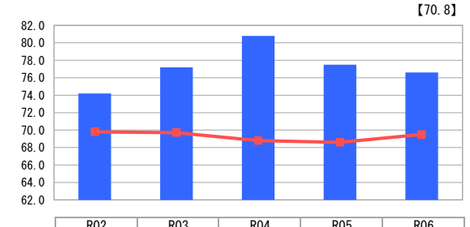
【58.0】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	72.7	74.5	76.0	75.7	76.1
平均値	56.8	58.5	57.4	57.3	57.9

②器械備品減価償却率(%)

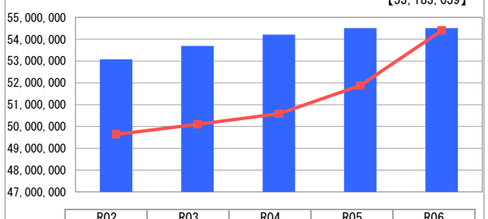
【70.8】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	74.2	77.2	80.8	77.5	76.6
平均値	69.8	69.7	68.8	68.6	69.5

③１床当たり有形固定資産(円)

【53,183,039】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	53,076,628	53,697,042	54,209,283	54,508,903	54,509,536
平均値	49,637,382	50,098,024	50,586,262	51,878,916	54,395,530

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化（従来の再編・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
年度	－ 年度	－ 年度

Ⅰ　地域において担っている役割

本院は長年にわたり、救急医療や災害医療及び小児周産期医療の中核病院として、地域の医療需要に応えてきました。また平成24年には地域がん診療連携拠点病院、令和元年には地域医療支援病院の承認を受け、質の高いがん医療の提供や地域の医療機関と医療機器の共同利用を行っています。

今後も地域の基幹病院として、高度急性期及び急性期医療を担い、医療提供体制の充実と地域の医療機関等との連携強化に努めていきます。

Ⅱ　分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、類似病院平均値を上回っていますが、100%未満であり、引き続き収益向上と費用縮減が必要です。

医業収支比率と修正医業収支比率は、類似病院平均値程度となったものの、病床利用率、１人１日当たり収益は類似病院平均値を下回り、累積欠損金比率は前年度より増加、かつ、類似病院平均値を大きく上回る状況が続いていることから、病院経営は大変厳しい状況となっています。

材料費対医業収益比率は、類似病院平均値が上昇する中、本院は材料の効率的な調達へ取組んでおり、減少となりました。

引き続き、診療報酬請求の適正化等による収益増加と費用縮減の取組み等により収支改善に努めていきます。

2. 老朽化の状況について

1床当たり有形固定資産は類似病院平均値程度となったものの、有形固定資産減価償却率、器械備品減価償却率は類似病院平均値を大きく上回っており、資産の老朽化が進んでいることがわかります。

特に建替え後31年が経過した建物の老朽化が進んでいる状況ではありますが、施設保全計画に基づく施設の長寿命化を図り、施設の機能と安全性を確保していきます。

器械備品については、経営状況を踏まえながら、必要性や必要数を精査した上で計画的に更新していきます。

全体総括

本院は、信頼される地域の基幹病院として良質かつ適切な医療サービスの提供に努めています。

令和６年度は、手術支援ロボットを導入するなど、より質の高い医療の提供に取組みました。

病院経営においては、病院職員が一丸となって収益向上・費用縮減に努めていますが、新型コロナウイルス感染症の病床確保補助金の終了や人事院勧告による給与費の増加などもあり、病院経営は大変厳しい状況となっています。

今後も皆様から信頼される地域の基幹病院として存在し続けていくために、引き続き収支改善に取組み、経営の健全性と安定性の向上に努めます。